

気を付けて！年末は夜間に歩行者がはねられる死亡事故が多発！
 ■問い合わせ：交通防犯課交通政策グループ ☎内線 494

県内の過去5年間の死亡事故の特徴は、「午後5時～7時台の日没時刻が最も多い」「薄暮時間帯の死亡事故は、10月～12月に最も多い」「薄暮時間帯や夜間は、自動車と歩行者の衝突事故が最も多い」の3つです。運転者・歩行者は次の点に注意し、事故を未然に防ぎましょう！



歩行者の方は

- 夕方以降に外出する時は、視認性の高い白っぽい服装や反射材を身に着けるなど、車の運転者に自分の存在を「見せる」工夫をしよう！
- 道路を横断する時は、必ず止まって左右の安全を確認しよう！
- 近くに横断歩道がある時は、少し遠回りでも横断歩道を利用しよう！
- 自宅前でも事故は起きています。気を緩めず慎重に行動しよう！



運転する方は

- 事故が多発する夕方や夜間の運転は、歩行者や他の通行車両に自分の車の接近を気付いてもらうために、「早めのライト点灯」で交通事故を未然に防止しよう！
- 夜間の運転中に対向車・先行車がない場合は、ライトを上向きにして、歩行者や自転車の早期発見に努めよう！
- 歩行者のそばを通るときは、不意の動作などに備え、安全な間隔を取る・徐行するなど「思いやりのある」運転をしよう！

12月1日（金）～15日（金）は年末の交通事故防止県民運動です。

年間重点スローガン

自分から 着けるライトで 消える事故

茨城県では飲酒運転・シートベルト非着用者の死亡事故が多発！

❗ 飲酒運転による交通死亡事故 全国ワースト5位!! (平成29年8月末)

順位	都道府県	飲酒死亡事故件数	うち死者数	飲酒構成率
1	兵庫	9件	10人	9.4%
1	大阪	9件	9人	9.7%
3	神奈川	8件	8人	9.4%
4	静岡	7件	7人	8.3%
5	埼玉	6件	6人	5.7%
5	茨城	6件	6人	6.8%
全国合計		124件	128人	平均5.6%

飲酒運転は信号無視・歩行者などの見落としやハンドル操作を誤ったりするため、追突事故や単独事故・正面衝突が多発することになり大変危険です。

飲酒運転の脳・体への影響

【出典：アルコール健康医学協会】

- 動体視力が落ち、視野が狭くなり、信号や他の車両、歩行者などの動きの見極めが遅くなります
- 抑制が取れ理性が失われているため、運転に必要な判断力が低下し、スピードを出しても気付かなかったり、乱暴なハンドルさばきをしてしまいます
- 集中力が鈍っているため、とっさの状況の変化に対応できなくなります
- 運動をつかさどる神経が麻痺しているため、ハンドル操作やブレーキ操作が遅れがちになります
- 体の平衡感覚が乱れ、直進運転できず、蛇行運転をしたりします

❗ シートベルト非着用死者数 全国ワースト3位!! (平成29年8月末)

順位	都道府県	非着用死者
1	北海道	23人
2	静岡	18人
3	茨城	17人
4	愛知	16人
4	兵庫	16人
全国合計		344人



- 非着用死者数は17人で、前年と比較して-10人となりました
- 非着用17人のうち、12人は着用していれば助かった可能性があります

シートベルト着用時の致死率0.18%に対して、非着用時の致死率は8.57%と約48倍になります。万が一のためにも、シートベルトは必ず着用しましょう。